

平成28年度法人本部事業報告

社会福祉法人 青葉福祉会

1) 事業

- ① 軽費老人ホームケアハウス 光陽ホーム
- ② 光陽ホーム 特定施設入居者生活介護事業
- ③ 光陽ホーム 介護予防特定施設入居者生活介護事業
- ④ 軽費老人ホームケアハウス 青葉ハイツ
- ⑤ 特別養護老人ホーム アルテイル青葉
- ⑥ アルテイル青葉 短期入所生活介護事業
- ⑦ アルテイル青葉 介護予防短期入所生活介護
- ⑧ 地域密着型特別養護老人ホーム アルテイル宮町
- ⑨ アルテイル宮町 短期入所生活介護事業
- ⑩ アルテイル宮町 介護予防短期入所生活介護
- ⑪ 三居沢デイサービスセンター 通所介護事業
- ⑫ 三居沢デイサービスセンター 介護予防通所介護事業
- ⑬ 八幡デイサービスセンター 通所介護事業
- ⑭ 八幡デイサービスセンター 介護予防通所介護事業
- ⑮ 青葉の風 認知症対応型共同生活介護事業
- ⑯ 青葉の風 介護予防認知症対応型共同生活介護事業
- ⑰ はちまんの風 認知症対応型共同生活介護事業
- ⑱ はちまんの風 介護予防認知症対応型共同生活介護事業
- ⑲ ヘルパーステーション青葉の家
- ⑳ 保育所 青葉保育園
- ㉑ 保育所 荒井青葉保育園
- ㉒ 保育所 栗生あおば保育園
- ㉓ 保育所 八木山あおば保育園
- ㉔ 路上生活者等自立支援ホーム 清流ホーム
- ㉕ 三居沢居宅介護支援センター
- ㉖ 八幡居宅介護支援センター
- ㉗ 八幡訪問看護ステーション
- ㉘ 教育研修事業
- ㉙ 奨学金貸与事業
- ㉚ 貸室賃貸事業 花京院マンション
- ㉛ 学生寮 フレンデル八木山
- ㉜ 学生寮 エクレール青葉

2) 事業報告

1. 改正社会福祉法への対応

平成29年4月1日より本格施行となる改正社会福祉法への対応を滞りなく実施できるよう努めた。具体的には、理事会・評議員会及び施設長会議等において法改正の意義や改正内容などを繰り返し説明し、定款をはじめとする諸規程の整備については仙台市等から指導を受けながら進めた。その他、評議員選任解任委員会の設置等の対応すべき事項についてもスケジュール通りに実施し、平成29年4月1日本格施行を迎えることができた。

2. コンサルタントの取り組み

本年度におけるコンサルタント会社（W・J・U株式会社）との取り組みは、経営企画室における収支改善を目的とした事業計画作成を中心に行った。定期的な講義やミーティングを経て、当面は収支状況が厳しい高齢者事業の収支改善に努めることとし、事業活動計算書におけるサービス増減差額をプラスマイナスゼロとすることを目標とした計画作成にあたった。

経営企画室が作成した事業計画を理事長にプレゼンテーション発表し、修正を繰り返した上で次年度の事業計画を完成させた。介護報酬の加算申請や人員体制の見直しなど本年度より実施した事項もあり、本年度においても改善に貢献することができたが、本格的な実施は平成29年度からとなる。

平成29年度は、事業計画の進捗状況を四半期ごとに検証し、必要な場合は修正していくことで計画の実施を目指していくこととし、中長期計画の作成にも着手している。

また、本年度下半期からは人事考課全般の見直し作業（業務標準マニュアル・働き方の指針を中心として職員の評価システム全般の見直しとそれらに連動した給与体系の見直し）を経営企画室が中心として実施していくこととし、仮運用や本運用までのスケジュール作成などの業務にあたった。

人事考課全般の見直しについては平成30年度より本格実施を目指す。

3. 新規事業アルテイル24

新規事業である定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の開所が諸事情により遅れていたが、平成29年4月1日に開所することとしてその準備にあたった。具体的には、仙台市との協議・補助金申請、職員の配置・研修、システム等備品の選定などであり、当初は八幡高齢者複合施設内に設置する予定であったが、最終的には特別養護老人ホームアルテイル青葉内に設置することとして準備を進めた。仙台市から事業開始の承認を受け、予定通り平成29年4月1日開所することができた。

4. 経営会議等の開催

- ・理事会（5/30、9/29、12/15、1/31、3/27）
- ・評議員会（5/30、9/29、12/15、3/27）
- ・評議員選任解任委員会（2/7）
- ・施設長会議（月一回開催）

5. 法令遵守等

法令遵守責任者を設置し、個人情報保護法に基づき適正適切な個人情報の取り扱いに努めた。マイナンバー制度の施行に伴い、職員のマイナンバーの取り扱いに関する規程や体制を整えた。

6. 情報公開等

社会福祉法人の情報公開や透明性確保を目的として、法人のホームページへ決算状況や諸規程を公開し、全国社会福祉法人経営者協議会のホームページ上にも情報を公開した。

また、各施設で製作している施設だより等の印刷物に施設の決算報告を掲載し、情報公開を行った。

7. 人事管理・人材育成

新規採用者の研修計画を立てて無資格者であってもスムーズに実務に入れるよう研修を実施した。

保育士及び介護職員確保のために、各施設より若手職員を選抜し求人チームを構成、説明会やガイダンスにおけるアピール等を行った。

8. 収益事業

学生寮フレンドル八木山・エクレール青葉ともほぼ満室とすることができた。また、花京院マンション賃貸事業についても順調に推移している。

【総括】

本年度は改正社会福祉法の対応や経営企画室による事業計画作成など、次代に向けた準備の年であった。中長期計画の作成や人事制度の見直しなど課題は残っているものの、次年度は計画を本格的に実施する初年度と捉えており、法人理念を中心として経営基盤の確保・福祉サービスの向上・地域福祉への貢献・職員処遇の改善などの実現に努めていく。

以上